

校務DX計画

1 千葉県・千葉県教育委員会による市町村等に対する広域的な支援

全県を通じた教育の情報化を推進し、今後、予定されている端末更新やシステムの更新等を円滑に進めるために、国や市町村をはじめとする多様な関係機関との広域的な連携体制を構築する。

2 ICTを活用した校務の改善

ICTの活用により校務を効果的、効率的に進め、教員の長時間勤務を解消し、学校の働き方改革を推進する。 □ 県教育委員会が実施する各種調査等をデジタル化することにより、教員の事務的負担及び教員の多忙感を軽減する。

3 基本的な方針を実現するために留意すべき視点

(1) 校務のデジタル化の推進に向けて、国の動向を踏まえつつ取り組むこととする。また、教育データの利活用推進に当たっては、国が示した「教育データ利活用ロードマップ」に基づき、取り組むこととする。

(2) 学校においては、児童生徒に対して、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通じて、児童生徒の情報活用能力を伸ばさせるとともに、ICTを活用した校務の改善に努める。

「教育DXに係る当面のKPI」に示しているKPI

項目	KPI	現状値（年度）	目標値（年度）
校務のDX化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	調査中 (廃止に向けた周知は実施済)	100% (R10)
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	調査中	100% (R10)
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	調査中	100% (R10)